

2010年12月23日

◎靖国神事◎



◎関東の護りの強化

◎菊と桜をつなぎ、かーさまのもとへ



なぜか行く、と決めていた靖国神社。初詣の準備でわさわさしているはずが、境内は静かな印象。ゆらとりも一緒だったので、意識は向けチャンネルをあわせながらも自然体で、みなさまとの交流も楽しみながら参加しました。



マルテン太陽と、一瞬射したひかり。

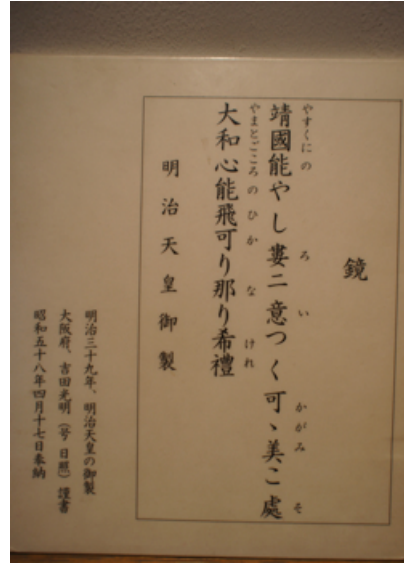
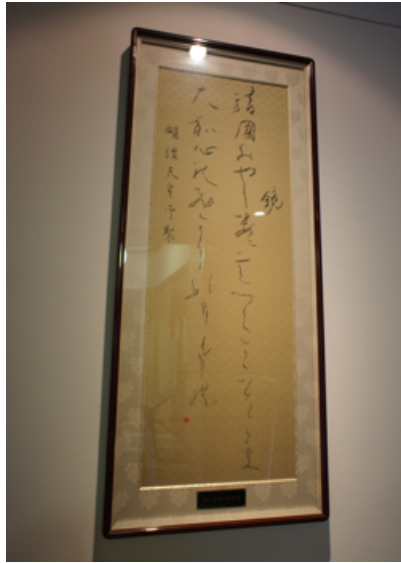
太陽の如くまっつき光となりて、維神の大志成就せん。

どこかから、強い意志が響いてきました。



池のまわりは、安息の地、靖国。

穏やかに調和していて、平安な空気が漂っていました。



母の像。

本殿からは、菊の太陽が、菊の光が、ぱあ一つとひろがっていきました。

英霊は光に昇華し、昇って行きました。真っ白い柱が立ちました。

浄化され、光の中に吸い込まれて行くような、

そうして、ようやく母のもとへと迎え入れられたような、

その安堵と歓喜に、舞っていた感じもします。



水から光へ。

水を通して光が流れる。

水に根源エンブレムが溶け込んでいる。

その光が、噴水のように、

きらきらと音をたてて、

沸き上がりひろがって行く。

まるで菊の花のように。

きらきと、

金色に輝かせながら。

おまけ



聖母庁の庭園のような空間。

太陽が顔をだして、やさしく、さんさんと降り注ぐ。

か一さまのもとで、満ち足りているような、

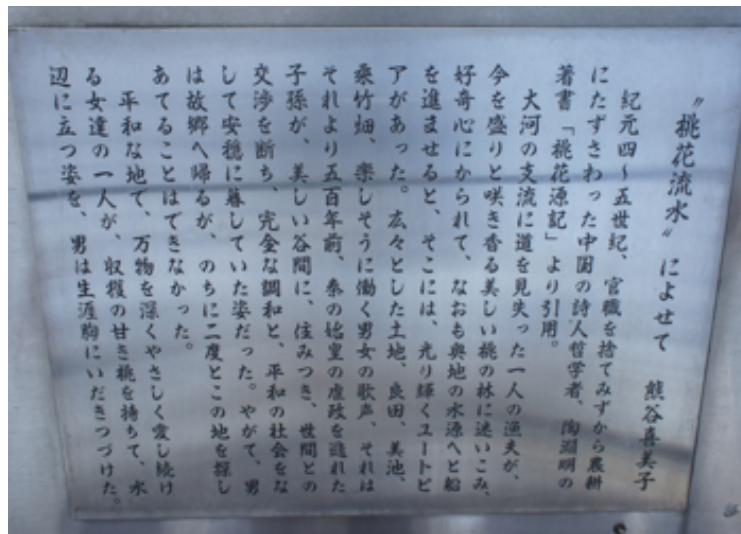
母なる愛に包まれて、

深く落ち着く、やわらかい光の空間。

花咲きほこる、のどかな世界。



おまけ その2



手には桃。なにかを象徴しているよう。

桃の地球へ。



神宮リタ